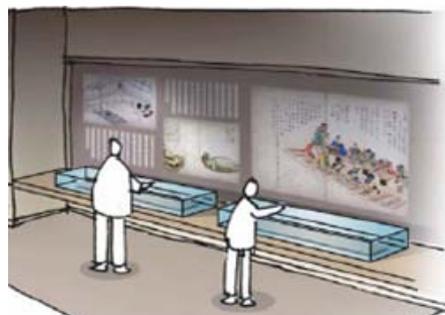


藩政時代の町並み再現の中で、現代の盛岡につながる展示を展開します。

盛岡の歴史の中で、今日につながる部分をより知ってもらうためには、盛岡藩政後半から明治初頭までを掘り下げていく必要があります。ロシア船の根室入港による蝦夷地警護や20万石への加増、藩財政への影響、藩政の終焉と明治維新、岩手県の成立など、近代への歩みとともに、藩校を中心に育まれた技術、輩出された多くの人材、領民の動向なども織り交ぜながら紹介します。情報の展開では、江戸時代以降の近代化の動向をも紹介するものとし、盛岡人の知恵や盛岡らしさを身近に楽しく感じながら、盛岡のルーツを探る旅を演出し、町なかに出て行くきっかけの一つとします。

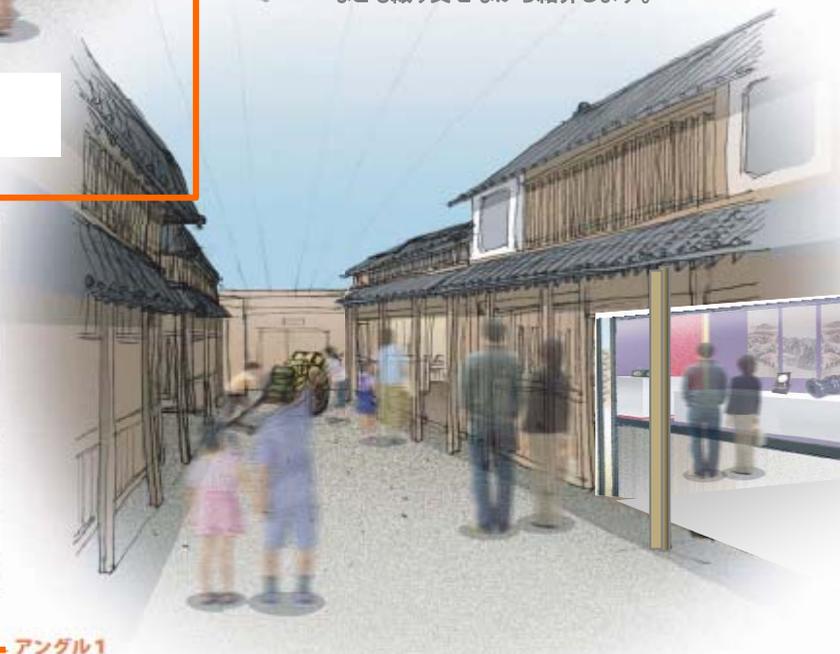


近代への予兆(2)
幕末から明治初頭に焦点をあて、藩政時代の終焉を展開。



アングル2
藩政時代の町並み再現
ファサード内部は展示コーナー等とする。

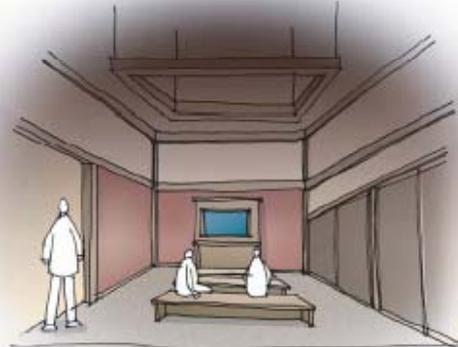
近代への予兆(1)
近代への歩みとともに、領民の動向なども織り交ぜながら紹介します。



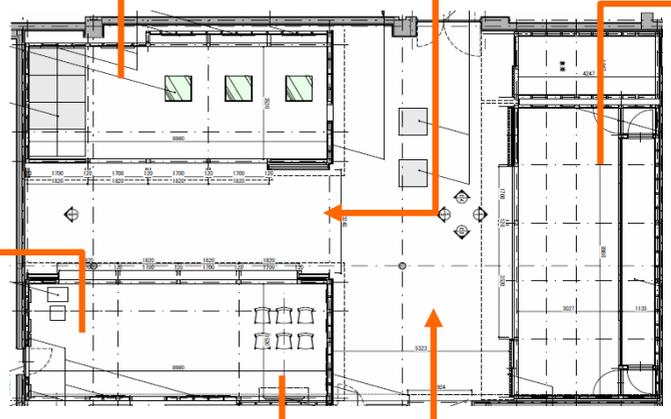
アングル1
藩政時代の町並み再現

古写真、絵葉書等の紹介

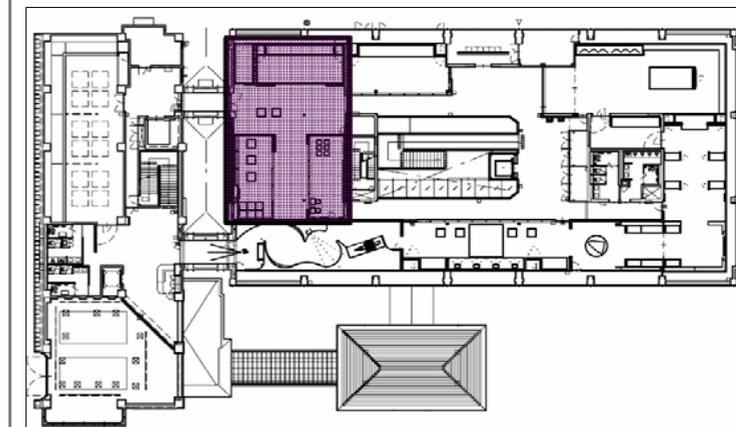
想い出の街角や人々を撮影した古写真や写真帖、懐かしの観光絵はがきなどを展示し、写真ギャラリーとしての展開。



懐かしい映像紹介
大正期の盛岡・岩手を撮影した「LIGHT OF IWATE (岩手の輝き)」等を上映、ミニシアター空間としての展開を回することで、盛岡に移入された新しい文物や近代化の息吹を感じられるものとします。



Key Plan S=1/200



展示構成



備考

